

# 山口県下関市における モデル事業(市町村管理構想)の取組概要

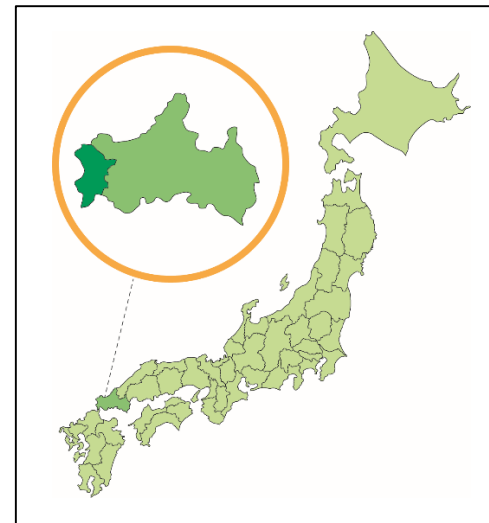
---

- R5年度より、山口県下関市のモデル事業の取組を開始。R6年度中に市管理構想の策定を目指している。
- 都市計画マスタープラン（令和3年度）では都市計画区域外についてまちづくりに係る明確な方向性を示せていないことから、管理構想を活用して市全体のまちづくりや土地利用・管理の方向性を検討し、明確化することを目指す。

## ■対象地域：山口県下関市

### ■市の概要：

- ・ 人口等：人口 25.5万人、11.6万世帯、高齢化率35.4%、年少人口率11.0%  
(R2年国勢調査)
- ・ 面積：716.18km<sup>2</sup> (R5年4月1日全国都道府県市区町村別面積調)
- ・ 地形：下関市は平成17年に市町合併し、旧下関市、旧豊浦町、旧菊川町、旧豊田町、旧豊北町からなる。丘陵地帯や、山林地帯、平野地帯が存在する豊かな自然環境に恵まれた地形となっている。本州最西端部に突き出た半島状の地形で、本州と九州及び大陸との接点でもある地理的条件から、古くから海上・陸上の交通の要衝として栄えてきた。



- 検討体制：都市計画課が主担当となって、企画課及び関係部局と検討を行い、4総合支所（菊川総合支所、豊田総合支所、豊浦総合支所、豊北総合支所）と連携しながら取組を進める。

### 【モデル事業の取組の経過】

- ・ R5.7月～ ● 基礎情報からの現状把握及び将来予測 <ステップa>  
(上位計画及び関連計画の整理、都市の現況整理、市民意向の把握)
- ・ R5.9月 ● 課題の整理 <ステップb-1>  
(目指す将来像、対応すべき課題、管理のあり方)
- ・ R5.11月 ● 庁内ワークショップ <ステップb-2>
- ・ R6.3月～ ● 市管理構想の検討 <ステップc>  
(市全体の土地に関する基本構想、必要な措置に関する事項、管理構想図)